



とくに、外気功とスピリチュアリティとの関連について
阿岸鉄三

108-09-07
Lorient

(032 - 001)

spirituality, spiritualとは、
なんだろう？

ref: 霊性・霊的より、
靈魂性・靈魂的の方が日本的

(026 - 026)

靈性の構成要素(1)

- 1) **超越的次元**: 靈的な人は、人生には超越的な次元があるという、経験に基づいた信念。。。目に見えるものが全てではないということ。。。。
- 2) **人生の意味と目的**: 人生には意味と目的があるという本物の感覚で実存的真空をうずめた。。。。
- 3) **人生の使命**: 靈的な人は使命感を持っており、超越へと動機づけられて。。。。
- 4) **生の神聖性**: 靈的な人は、生は神聖さに浸されていると信じ、しばしば非宗教的な境遇で畏怖・畏敬及び驚きの感覚を経験。。。。
- 5) **靈的価値**対物質的価値: 靈的な人は、究極の満足は物質的なものではなく、靈的なものに見いだされると知っている。

(Elkins, ND:Beyond Religion,1998

(大野純一訳:スピリチュアル・レボリューション、p47、星雲社、東京、2000年)

(026 - 027)

靈性の構成要素(2)

- 6) **利他主義**: 靈的な人は、強い社会正義感を持ち、利他的な愛と行為に献身する。
- 7) **理想主義**: 靈的な人は、世界の改善に献身する夢想家で、高い理想に傾倒し、人生のすべての面での肯定的潜在可能性の実現に献身する。
- 8) **悲劇的なものへの自覚**: 靈的な人は、人間存在の悲劇的現実を厳粛に意識。。。人間の苦痛・苦悩・および死についての深い自覚は深さを与え。。。。
- 9) **靈性の報い**: 靈的な人とは、その靈性が人生で、実を結んだ人である。

(Elkins, ND: Beyond Religion, 1998)

(大野純一訳: スピリチュアル・レボリューション、p47、星雲社、東京、2000年)

WHO憲章改定考察への要求

1998年1月22日WHO憲章のレビュー：特別委員会報告

以下を挿入する

「健康とは、完全な肉体的、精神的、**spiritual**および社会的福祉のdynamicな状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない

Health is a dynamic state of complete physical, mental, spiritual and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity」

(津谷喜一郎ら：、健康のスピリチュアル・ディメンジョン(5)、東洋医学28(3):234,2000)

SpiritualityがCAMの臨床現場で現れるのは、
spiritual healing
therapeutic touch・外気功・手かざし・
animal magnetism (Mesmerism)、
psychic healing, etc.

HANCOF LIGHT
光の手 下 自己変革への旅
大ベストセラー！
待望の日本語版
河出書房新社

HANCOF LIGHT
光の手 上 自己変革への旅
決定版！
ヒーリングガイド
河出書房新社

スピリチュアル・ヒーリング
レボリューション
Everett Collection
ポストモダンの八聖道
デレク・クライトン、マルキス・デ
大野純一訳
河出書房新社
ユズモスライブラリー

スピリチュアル・ヒーリング ②
あなたを癒す愛のエネルギ―
愛と癒しの
新たな物語
日本教文社

スピリチュアリティの現在
宗教・倫理・心理の眼
湯浅泰雄 監修
人文書院

Out on a Limb
Sally McLane
アウト・オン・ア・リム
シャーリー・マクレイン
山川結矢・亜希子訳
地湧社

祈る心は、治る力
ラリー・ドゥーシー
大塚晃志郎[訳]
日本教文社

Art and Science of Healing
—Harmony of Body, Mind and Spirit—
癒しの芸術と科学
—身体・心・魂の調和
興健夫 監修
三思社

スピリチュアリティの興隆
新霊性文化と
その周辺
島蘭進
岩波書店

スピリチュアル・ヒーリング
ベテランの
中村正明
日本教文社

臨床実践のためのスピリチュアルセラピー
Len Sperry
平林栄一・飯森眞喜雄
三輪書店

スピリチュアリティといのちの未来
益國の時代における
科学と宗教
島蘭進
永見勇 監修
人文書院

サイキックヒーリング

- 手かざしの進歩の歴史 -

006002

古代エジプト：B.C.1552ころの「エベルス・パピルス」に記載あり。

ギリシャ：B.C.400。病人の治療に**手かざし療法**。

ex) 失明の回復・不妊女性の懐妊。

聖書：医学的応用や霊的な応用についての記載あり。

キリストの奇跡的な**癒しは手かざし**による。

「私が行っていることは、あなた方にもできることだ。

あなた方ならもっと上手にできるだろう」(キリスト)。

初期キリスト教聖職者：**手かざし療法**は、説教・秘蹟と同じ仕事。

ヨーロッパ：王様たちの癒しのわざは「**ロイヤル・タッチ**」。

ex) 瘰癧(るいれき)の癒し

イギリス王ウィリアム4世(1765～)時代に廃止。

(Gerber R:Vibrational Medicine,1988

(真鍋太史郎訳:バイブレーション・メディスン、p352、日本教文社、2000年。))

(028-018) Trance and Trauma. Functional Nervous Disorders and the Subconscious Mind . Wikipedia. Figure 23. In Mesmer's (1779) view, cure was effected through "magnetic passes" of the physician's hands.





012-020

外気功に対する患者の反応(1) 008003

1. 精神的(内的)反応

A) 即時的: 送功開始後数十秒以内に始まる

頭の中のふわふわ / ぐるぐる廻る感じ

安らかな気持ちになり眠くなる ~ 半睡眠状態(会話可能)

頭部・顔面から体幹・四肢に温感がドクドク・ズンズン流れる感じ
(ときに、冷感も)

指・手掌にチクチク・ムズムズする感じ

上半身が引かれる / 押される感じ

B) 長期的: 外気功を繰り返すうちに次第に

安らかな, 明るい, 穏やかな, 受け入れる気持ち

他人・動物・植物・非生物にも優しい気持ち

活気・元気が出る

性格・靈性に影響?

外気功に対する患者の反応(2)

008004

2. 肉体的(外的)反応

深いゆっくりした呼吸

顔面の紅潮

全身の発汗

唾液分泌の亢進

腸蠕動の亢進

上半身の一方向への傾斜～回旋

指～肩までの筋痙攣・不随意運動

上肢・下肢の脱力・固定(金縛り?)

会話は自由に可能

送功を終了して、自ら～数回の拍手で

びっくりしたように覚醒

(026 - 002) ヒーラーは靈的存在の仲介者

治療師(ヒーラー)は治療エネルギーというか
生命力を伝える仲介者にすぎず、**靈的存在の
助け**を受けていることが分かったのである。

(Shine B : Mind to Mind,1989

(中村正明訳:スピリチュアル・ヒーリング、p170、日本教文社、東京、1991))

spiritualityに対する最近の見解

(026 - 029) 宗教的ではあるが、靈的ではない

組織宗教の信徒たちは、彼らの信仰は元々、その預言者の恍惚的体験に基づいていたということをしばしば忘れる。その人々の宗教的傾倒は、もはや真正の靈性の基準によってではなく、その宗教の信条的立場に一致する度合いによって判断される。かくして、人が**宗教的ではあるが、しかし靈的ではない**ことが可能になる。

(Elkins, ND:Beyond Religion,1998

(大野純一訳:スピリチュアル・レボリューション、p118、星雲社、東京、2000年)

霊(魂)性・宗教性の概念モデル

深い

宗教性

理念型：制度化宗教(内部批判) インド仏教など

表現型： [奉仕 供物 献金]

創唱宗教 一神教的宗教

キリスト教 儒教化仏教 イスラム教など

[祈り 祈念 祈願 祖先尊崇 声明]

造物主 八百万神 animism 神道

something great intellectual design オカルト集団など

[癒し スピリチュアルヒーリング]

霊
魂
性

深い

インフラストラクチャー

理念型： 霊(魂)性spirituality

霊spirit 魂soul

表現型：普遍的本質 元型(ユング) 世界霊・宇宙霊

共通(感)感覚 ラポール homo curans/patients

Ref：宗教は約束事・科学は先行的決定事項を追求しない(引力・脳の意識作用)

(027 - 046)

基層的なスピリチュアリティ

スピリチュアリティ(霊性)を考えると、「いのち」の尊さの感覚はその大きな一部。。。

基層的なスピリチュアリティは原理や理性のみに基づくというより、感情や情緒を重視するものと理解される。支配したり服従したりすることより、共感し支え合うことを、つまりタテの関係より、ヨコの関係を基盤とするものにとらえられる。

仏教の慈悲・キリスト教の愛・儒教の仁・神道のまごころといった理念はこのような基層的なスピリチュアリティの各宗教における表現。。。それは特定の宗教伝統とを結びつくことがなくても十分に伝えられ、育てられてきた。。。

(島園進:先端医療技術の倫理と宗教。スピリチュアリティの現在(湯浅泰雄監修)、p108、

人文書院、京都、2003年

(028 - 033)

新靈性文化・運動はネットワーク

新靈性運動・文化の支持者の多くは既成の組織化された宗教伝統，すなわちキリスト教，イスラム，ユダヤ教，仏教などに対して概して否定的。。。また，がっちりとした教団組織や教義を持ち，指導者に権威が集中している新宗教に対しても，自分たちにはふさわしくない世界だと感じて。。。そこで，**緩やかな指導や協力**の関係として「**ネットワーク**」を築くという主張がなされることが多い。指導者や情報提供者が他の人々に権威的な指示を与えることはなく，支配服従の関係は形成されない。参加と離脱は自由で定期的な集会や儀礼はなされないのが普通。。。。

(島園進:スピリチュアリティの興隆 - 新靈性文化とその周辺 - , p 61、岩波書店、東京、2007年)

(028 - 035) 伝統的教団宗教から見る新靈性文化

アメリカ合衆国やヨーロッパ諸国では、**キリスト教の立場から新靈性文化を敵対者**と見なし、厳しい批判を浴びせる人々が多い。日本では、宗教の側から新靈性文化への批判はあまり目立たない。その理由として、新靈性文化が日本の宗教伝統にとってそれほど異質なものではなく、それと重なり合うところが少なくないという点が挙げられよう。新靈性文化では、**自然の中に聖性**を見いだす態度が好まれるが、これは**日本の神道や民族宗教の特徴とよく合致**している。瞑想や呼吸法や**ボディーワーク**は、仏教や道教、神道や武道や芸道などの伝統を通して現代に至るまで連続と伝えられてきた。

Ref : 日本古来の宗教は、宗教というよりspiritualityに関わる

(島藺進:スピリチュアリティの興隆 - 新靈性文化とその周辺 -、p 64、岩波書店、東京、2007年)

(028 - 036)

アニミズムと新霊性文化

日本の主流文化を代表する知識人たちの中にも、新霊性文化に同調し、潮流を称揚する。。。

縄文時代の宗教は**自然の中に聖性**を認めて自然とともに生きようとするアニミズム、あるいは古神道などと呼ばれ、今後の人類の未来を照らし出す優れた精神だと論じられた。。。

梅原猛はキリスト教やイスラム教や仏教は自然破壊につながる宗教だとして批判し、それに対してアニミズムこそ**未来の文明にふさわしい霊性**であると主張した。

(島藺進:スピリチュアリティの興隆 - 新霊性文化とその周辺 -、p 66、岩波書店、東京、2007年)